いまかね教育かわら版
こんにちは教育委員会です
ふたたび

No.２３７
令和８年（2026）８月２６日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦

教育委員リレーエッセイ
『挑戦する人（チャレンジャー）』

今金町教育委員　永井　章

とある中学校の体育祭におじゃました時のことです。今年赴任してきた校長先生が、競技種目の 1500m を生徒にまじり走っていました。たしか校長先生は入学式の時に「挑戦」という言葉を式辞の中で使っていました。

（言うことは簡単です。しかし実際に行動に移すことはけっこう難しいと思います。）

校長先生は実際に 1500m に挑戦し、みごと完走しました。自ら示した行動は生徒達にはもちろん、観覧していた保護者のみなさんにも伝わったと思います。そして何よりも私自身もかなり刺激を受けてしまいました。（ちなみに校長先生とは同い年です。）



このビリビリとした強い刺激を受けてから思い出すことがありました。私が小学校の PTA 会長の時のことです。子どもたちに話す機会があった時には「挑戦すること、あきらめないこと、そして楽しむこと」を伝えていました。

今思うことには、話しているだけで伝わっていなかったかも？自ら行動していなかったかも？と、省みるとただの自己満足だったかもしれません。

そんな思いを抱きながら、でもやっぱり「挑戦すること、あきらめないこと、そして楽しむこと」は、いい言葉だな～と思っています。

そして、いつまでも挑戦する人チャレンジャーでありたいと思います。



（ピリカダム・カヌー体験）

お盆が過ぎ、晩夏のイベントを終え、学校も始まりました。

８月の定例校長会議もありましたが、大きな事故報告はなく、子どもたちが無事に学校生活に戻れている様子に、学校、ご家庭、地域の指導力に感謝しております。

熱中症対策、クマ出没への対応、急激な天候悪化への即時対応など、文字通り変化の激しい時代の中にある教育界ですが、予測不能という言葉に甘んずることなく、情報を集約し、行政として納得する判断をし、先を見据えて乗り切っていくこと。それに尽きるのだと考えています。

子どもたち、町民の方々の誰一人として不幸な思いをさせたくない。将来に希望を持ち続けられるよう、心穏やかな日々を送られる環境を整えていくこと。おかしいものはおかしい、良いものは良いという正義の勝つ世の中に。当たり前の環境に。願いと思いです。

ある文章に目がとまりました。

「先生方がAIを使って作った問題に、生徒はAIを使って解答する」「その解答を先生方はAIを使って採点する」

本当にそうか？　なにかおかしくないか…。私たちは生きた人間相手の仕事をしている。それが楽しい仕事。